

令和6年度関東信越地区高等専門学校体育大会

卓球競技実施要項

1. 主催 関東信越地区高等専門学校体育協会
2. 主管 関東信越地区高等専門学校体育協会卓球専門部
3. 開催校 茨城工業高等専門学校
4. 期 日 令和 6 年 6 月 28 日 (金) 監督・代表者会議 16時00分
開会式 17時00分
6 月 29 日 (土) 競技
6 月 30 日 (日) 競技 閉会式 競技終了後
5. 会場 ひたちなか市総合運動公園総合体育館
〒312-0005 茨城県ひたちなか市新光町49
6. 競技規則 (1) 令和6年度現行の日本卓球協会日本卓球ルールを準用する。
ただし、タイムアウト制は各種目の準決勝から適用し、ゲーム中のアドバイスは認めないものとする。
(2) 使用球はNittaku製の日本卓球協会公認球(プラスチック球40mmホワイト)とする。
(3) 選手は日本卓球協会指定のゼッケンを背につけなければならない。また、団体戦およびダブルスのペアは同一の日本卓球協会公認のウェアを着用し、対戦相手とは異色にする。
7. 参加資格 高等専門学校の学生であり、かつ日本卓球協会に登録した者であること。
8. 参加料 男子及び女子：団体8,000円、個人(団体出場者を除く)1人1,000円とする。
9. 参加申込方法及び申込期限 別紙の送付書類を参照のこと。
10. 競技開始時間
① 男子団体の部 6月 29日(土) 9時00分
② 女子団体の部 6月 29日(土) 10時20分
③ 男子個人の部 6月 29日(土) 14時30分
6月 30日(日) 9時00分
④ 女子個人の部 6月 29日(土) 15時00分
6月 30日(日) 9時00分
11. 参加人員
① 男子団体の部 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手8名以内の計11名以内。
② 女子団体の部 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手8名以内の計11名以内。
なお、3名以上の選手で申し込むことができる。詳細は別紙「女子団体戦競技について」を参照のこと。
③ 男子個人の部 監督1名、シングルス6名以内、ダブルス3組以内。ただし、出場選手は団体の部に登録した者に限る。
④ 女子個人の部 監督1名、選手数は全体数をシングルス30名、ダブルス15組とし、配分は申込み終了後、主催校が調整し各校に連絡する。
ただし、各校の最大登録人数は6名とする。
⑤ ベンチ入り 団体戦は団体登録された11名以内。
個人戦は監督、個人選手又は団体登録された者の内1名。
⑥ その他 各競技において、監督は教員、コーチは教員又は学校長が認める職員及び在學生、マネージャーは教員又は在學生であること。

12. 競技方法

- ① 男子団体の部
 - (1) トーナメント方式とする。
 - (2) 4シングルス、1ダブルスの3ゲーム先取法とする。
 - (3) ダブルスのオーダーは3番におき、同一選手がシングルス、ダブルスに重複してもよいが、1・2番に出場する選手のみでダブルスを編成することはできない。
 - (4) オーダーの提出は試合開始前10分、または前試合終了直後とする。
 - (5) シングルス、ダブルスともに11本5ゲームマッチとする。
 - (6) 組合せによりダブルスと並行して、4、5番の試合を行う場合がある。
- ② 女子団体の部
競技方法は、① 男子団体の部 (1)～(6) に準ずる。
詳細は別紙「女子団体戦競技について」を参照のこと。
- ③ 男子個人の部
トーナメント方式とする。
- ④ 女子個人の部
トーナメント方式とする。ただし、参加選手数により変更することがある。
シングルス、ダブルスともに11本5ゲームマッチとする。

13. 全国大会出場条件

- (1) 団体 男女とも優勝校
- (2) 個人シングルス 男女とも上位2名
- (3) 個人ダブルス 男女とも上位2組

14. 組合せ

参加申し込み終了後、主管団体の責任において組合せを行い、その結果を直ちに出場校に通知する。なお、シードについては以下①、②のとおりとする。

- ① 団体戦 前年度及び本年度に開催された大会（高体連主催大会及び高専大会規模）での成績を加味し、シードを決定する。該当校がない場合は、シードも含めて抽選とする。
- ② 個人戦
 - (1) 前年度及び本年度に開催された大会（高体連主催大会及び高専大会規模）での成績を加味し、シードを決定する。該当する選手やペアがない場合は、シードも含めて抽選とする。
 - (2) 組合せは事前に決められたトーナメント表（A～Jの学校名と校内順位を記したものを）を用い、学校名を抽選により決定する。各学校の登録された選手を校内順位に従ってトーナメント表の各校の校内順位に当てはめる。
 - (3) シード1位および2位の選手の学校はそれぞれA校およびB校とし、各シード選手をA1、B1に当てはめる。シード1位および2位の選手が同一校の場合は、シード1位の選手のみA1に当てはめ、その他の選手は校内順位に従ってトーナメント表の学校順位に当てはめる。なお、シードする選手がない場合は、(2)に従い抽選とする。
 - (4) 女子シングルスでは校内順位が1位から3位の選手が、準決勝まで対戦しないよう配慮する。
- ③ その他
 - (1) 3位、4位決定戦は行わない。
 - (2) 組合せは大会開催日の9日前を目途に参加校に通達する。

- ## 15. 表彰
- (1) 男子及び女子団体戦優勝校にはトロフィーと賞状を授与し、2位、3位チームには賞状を授与する。なお、トロフィーは優勝校の持ち回りとする。
 - (2) 個人種目は1位、2位、3位に賞状を授与する。
 - (3) 功績が特に顕著なチーム、個人に対しては特別に表彰することがある。

16. 選手、監督・コーチ・マネージャーの変更

- (1) 選手登録後、選手はいかなる理由に対しても変更は認められない。
- (2) 監督・コーチ・マネージャーの変更は、大会前日までに所属学校長の承認と指定の申請書を開催校に提出し、変更について代表者会議で承認を得る。

17. 競技のマナー

- (1) 選手は高専生らしい真摯な態度とフェアプレーの精神で競技に専念し、プレーの継続に心掛ける。
- (2) サービスやレシーブ態勢の間を必要以上にとらない。
- (3) ゲーム中の助言及び観覧席からの助言は禁止する。
- (4) ベンチで立ったままでの応援はしない。
- (5) ゲーム間でベンチに戻るときは、ラケットをコート上に置く。
- (6) コート内およびベンチ内の参加者の服装については、白系のものを着用しない。
- (7) 観客席からの応援は節度のあるものとし、競技進行の妨げにならないようにする。

18. 個人情報

- (1) 大会出場者で、ホームページや報道等に個人名を公表してほしくない場合は、学校を通じて大会事務局に申し出ること。申し出は代表者会議をもって締め切る。事前に申し出がない場合は、公表を行う。
- (2) 「独立行政法人等の保有する個人情報保護に関する法律」に基づき、大会参加申込書等により取得した個人情報は、大会運営、結果公表等の目的以外には使用しない。

19. その他

- (1) 前の試合が終わり次第、次の試合を繰り上げて実施する場合がある。
- (2) 男子団体戦では相互審判、男子個人戦では敗者審判にて進行する試合もある。
- (3) 試合中の負傷については大会本部で応急処置をするが、その後の処置は各学校及び各自で行うこと。
- (4) 健康保険証等は各自で準備しておくこと。
- (5) ごみの処理については、「連絡事項」を参照のこと。

女子団体戦競技について

- (1) トーナメント方式とする。ただし参加校数により、方式を変更することがある。
- (2) 4シングルス、1ダブルスの3ゲーム先取法とする。
- (3) ダブルスのオーダーは3番におき、同一選手がシングルス、ダブルスに重複してもよいが、1・2番に出場する選手のみでダブルスを編成することはできない。
- (4) オーダーの提出は試合開始10分前、または前試合終了直後とする。
- (5) シングルス、ダブルスともに11本5ゲームマッチとする。
- (6) 組合せによりダブルスと並行して、4、5番の試合を行う場合がある。
- (7) どの学校も、登録選手が3名以上のチームで女子団体戦に参加することができる。
なお、チームの登録選手が3名となる学校は、代表者会議でその旨を申告する。
- (8) 登録選手が3名のチームが出場する試合については、以下のように勝数を取り決める。
 - 1、チームA（登録選手3名）とチームB（登録選手4名以上）の試合
チームAは1番シングルスの試合を棄権とし、かつその勝数をチームB：1勝とみなす。
続いて、2番シングルスの試合を行う。
 - 2、チームA（登録選手3名）とチームB（登録選手3名）の試合
両チームとも1番、2番シングルスの試合を棄権とし、かつそれらの勝数を
チームA：1勝、チームB：1勝とみなす。続いて、3番ダブルスの試合を行う。
 - 3、全国大会への推薦は4名以上のチームに限る。